

佳作

## さあちゃんのこと

さあちゃんは、わたしのおじいちゃんです。わたしが、「おじいちゃん」ではなくて、「さあちゃん」と名前でよぶのは、「おじいちゃん」とよぶと、さあちゃんはきつと「年をとってしまったな。」

と、かなしくなると思うからです。

さあちゃんは、やさしくてスポーツマンです。お買物は、いつもマウンテンバイクでひとつ走りです。登山も大すきで、わたしもさあちゃんといっしょに何回もハイキングに行ったことがあります。わたしがようち園生の時、車山に登って、上りざかをいっしょけんめい歩いていたら、つかれて気分が悪くなつてしまいました。自分でがんばつて登ろうと思いましたが、さあちゃんが「おんぶしてあげよう。」

と言つておんぶしてくれました。楽ちんで、すぐに気分が悪いのもおつてしまいました。さい後はさあちゃんと手をつないで、自分の足で登り切りました。そこにまつていたのは、お花がたくさんさいている草原を、遠くまで見たせるおかでした。さあちゃんといっしょに、そうがんきょうでけしきを見ながら、遠くの山や鳥の名前を教えてくださいました。

夏休みや冬休み、春休みの間は、かならずさあちゃんのおうちにとまりに行きます。そうするとさあちゃんは、しゆく題のお手つだいしてくれます。漢字書きとりの問題を出してくれたり、分からない問題を教えてくれたりします。

群馬県  
ぐんま国際アカデミー初等部三年

島田 結衣

「こんなかんたんなのもできないの。」

と言いながら、やさしく、でもちよつとこわい顔で教えてくださいます。べん強の時間がおわると、おん水プールにつれて行つてくれます。さあちゃんのおうちは海に近いので、つりにもつれて行つてくれます。わたしがはじめてつりをした時に、さあちゃんはつりのしかたを教えてください、はりにえさをつけてくれました。海に向かつてはりを投げたから、クルクルとリールをまくと魚がつかれると教えてくれました。わたしもちようせんしました。すると、さあちゃんの前のお話とおおり、とらふぐの赤ちゃんがつれたのに、今、さあちゃんは重いびょう気で一日中ベッドの上です。このことになつてしまいました。今も夏休みでさあちゃんのおうちにあそびに来ているけれど、漢字の問題は出してもらえません。さあちゃんのつらそうな顔を見ると、なんだかわたしも元気がなくなつてきます。でも、さあちゃんのために、わたしは笑顔でベッドに行つて、さあちゃんとたくさんお話ししたり、いっしょにごはんを食べたり、さあちゃんをベイスで車いすをゆつくりおしてあげたりしています。

さあちゃん、今まで色々な事を教えてください、ありがとうございます。これからは、わたしがお返しをする番です。さあちゃんのお手つだいをたくさんするので、早く元気になつてね。